

様式 4

平成 25 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 26 年 5 月 26 日

学 長 殿

所属部局・職名 理工学類・准教授

申 請 者 名 藤本典嗣

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 ○学術出版・叢書・学会等) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	学術出版助成 書籍名「東日本大震災からの復旧・復興と国際比較」の刊行
事業実施期間	平成 25 年 10 月 ～ 平成 26 年 3 月
成果の概要	<p>福島大学国際災害復興学研究チーム編著により、「東日本大震災からの復旧・復興と国際比較 (ISBN : 978-4-86014-070-0)」を、学術出版助成を受けて、八朔社より刊行した。</p> <p>総ページ数は、320 ページにわたり、執筆者は、12 名であり、担当章は以下のとおりである。</p> <p>第 1 部「データから見る東北地方の地域経済と復旧・復興は、第 1 章「東日本大震災以前の東北」、第 2 章「東日本大震災の県別被害状況」、第 3 章「震災から 3 年経過後の地域経済」、第 4 章「震災から 3 年経過後の復旧・復興」、第 5 章「甚大被災経験地域のノウハウと東日本大震災の被災地域に対する支援の活用」からなり、蓮江忠男・大沼久美 (日本政策投資銀行東北復興支援室が、執筆した。</p> <p>第 2 部「復興における諸アクターの役割 1 (国内編) では、第 6 章「東日本大震災被災地における移動ニーズとモビリティ」を吉田樹 (福島大学経済経営学類・准教授) が、第 7 章「復興戦略としてのスマートコミュニティ構築」をユン・キョンヒル (福島大学経済経営学類・教授) が、第 8 章「東北地方太平洋沖地震の概要と今後の地震発生の予測」を中村洋介 (福島大学人間発達文化学類・准教授) が、それぞれ執筆した。</p> <p>第 3 部「復興における諸アクターの役割 2 (国際編)」では、第 9 章「災害復興メカニズムと社会経済の調整パターン—レギュレーション・パースペクティブ—」を厳成男 (前福島大学経済経営学類・准教授) が、第 10 章「ハリケーン・カトリーナの衝撃とニューオーリンズの未来—災害をめぐるグローバルな対抗—」を後藤康夫 (福島大学経済経営学類・教授) が、第 11 章「タイの大洪水に対する支援・復興活動—諸アクターの役割を中心に—」を、佐野孝治 (福島大学経済経営学類・教授) が、第 12 章「大型自然災害から</p>

の産業復興と立地政策―東日本大震災と中国四川大地震の比較を中心に」を、朴美善（福島大学共生システム理工学研究科博士課程）が、第13章「ハイチ大地震とマクロバランス」を、藤本典嗣（福島大学共生システム理工学類・准教授）が、第14章「ソロモン諸島沖地震・津波の教訓」を、三村悟（福島大学 FURE 特命教授）が、第15章「スマトラ沖地震・津波被害とインドネシア―アチェ復興プロセスを中心に」を、吉高神明（福島大学経済経営学類・教授）が、それぞれ、執筆した。